

紫マルチの効果確認試験



左:試験品 右:現行品(07.03)



試験品(07.03)

試験目的

紫マルチの効果確認試験

試験作物 及び品種

スイカ(でんすけ)

試験資材 及び数量(規格)

バイオレットマルチ(0.025mm×270cm×200m)

慣行資材

グリーンマルチ(0.03mm×270cm×200m)

栽培方法

定植日
慣行区:5月下旬
試験区:5月下旬

収穫日
慣行区:8月2日
試験区:8月2日

【栽植密度】
畝幅:250cm
株間:40cm

資材使用期間

5月下旬～8月10日

試験区面積

660㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

現行品と比較して差は見られなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

収量差・生育差は見られなかった。

試験品の方が0.025mmで薄物ではあったが、生育差は感じられなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】 試験区ではアブラムシの発生が抑制されているように見られた。

【問題点】 マルチ押さえで留めた際に、試験品の方が裂けやすいように思われた。現行品より薄いためなのかは分からないが、もう少し強度は欲しい。

(4)保温効果について

生育差は見られなかったため、緑色と比較して若干の保温効果はあったと思われる。

(5)雑草・病害虫の発生について

雑草抑制効果は緑マルチと同等にあり、問題なかった。

また、今回試験品を使用した区域ではアブラムシの発生が抑えられた。

モニター感想

試験は①試験品のみ使用ハウス、②現行品のみ使用ハウス、③現行品と試験品を一つずつ使用したハウスの3パターンで行った。今年は全体的にアブラムシ

の発生が多かったが、試験区でのアブラムシは明らかに少なかった。この差は③ハウスで特に顕著に見られた。

アブラムシが紫色を嫌ったのか、緑色をより好んだ為なのか理由は分からなかったため、今後更なる試験等で明らかにしてほしい。

JA担当者の感想(資材課 福澤主事)

当麻町では、でんすけスイカの生育には主に茶マルチまたは緑マルチを使用している。現行のマルチと比較して明らかな差が見られればこの紫マルチも普及して行くと思われる。今回の試験のようにアブラムシ等の抑制に効果があるのかも含め、今後他の作物での試験も必要であると思われる。また紫色の効果に、赤外線を吸収しやすいための地温上昇効果等、他の色にはない特徴が見られれば、薄物化→コスト低減へとつながるため、色の効果について調査してほしい。

今後の使用について

継続して使用したい。

将来希望する資材について

生産者毎に好みがあり様々な規格が必要になると思うが、有孔加工されたマルチを安価に提供してほしい。

または、簡単に好きなところに穴あけができるマルチがあると良いと思う。